

教会レポート

佐布里池へ梅観賞

三月十日(日)の午後から知多市の佐布里池に行きました。梅まつり開催期間最終日で、梅はチラホラの咲き具合でしたが多くの方が訪れていました。まだ、風が吹くと肌寒かったです。敷地内を散策し、よき運動にもなりました。来年は早めがいいようです。



草花がどうして育つのか、よく考えなさい。種蒔きもせず、紡ぎもしません。

(ルカ十一章二七節)

イースター、復活祭

三月三十一日(日)はイエス様の復活をお祝いするイースターを共に祝いしました。早朝は任坊山公園にて市内の教会と合同の集いを行ない、その後は教会墓地にて墓前礼拝、教会に戻り礼拝を共にささげました。プログラムはイースターバージョンで行なわれ、洗礼式もあり祝福された日となりました。



礼拝後は風船ゲームとエッグハントを楽しみお好み焼きランチを頂きました。明日からの新年度へ向けて喜びの時となりました。イエス様ありがとうございます。



ハッピーライフ

かつて無い満たし

I・Y

聖書により神様の御言葉に触れ、目を覚まされる以前はなんと空虚な毎日をごしていたことでしょう。

物質的には富み、情報も溢れんばかりの現代で、何を選択すべきか思い悩み、やっとなんか手に入れ、また複雑思考の中で頭を痛め、やっとなんか結論に辿り着き、それでもなかなか満足という実感もなく・・・世間に対し、自分に対し不平不満の中に時を費やしていたように思います。

しかしある時から教会に通い、自分は天地を創造された偉大なる神様によって造られたことを知り、自分自身の存在価値が今までとは違ったものを感じるようになりました。自分も神様の御計画により生かされ、愛され祝福されている大切

な『ひとり』であること。すると、不思議と素直な気持ちで自分を見つめ直すことが出来ました。同時に神様の御前に我が身の罪の多さにも気づき、恐ろしくもなりました。

けれどもまた、神様はイエス・キリストを地上に遣わされ、私たちの罪の身代わりとならせて下さった。私たちはイエスを信じることにより生まれ変わる事ができる。そしてもう一度、神様と共に生きることができるとわかりました。

その時から心の平安が感じられ、心が満たされると何をしても幸せ、今までなかった満足感を実感、まわりを見れば感謝と思えることだらけ。教会の先生方、信者の方々に助けられ信仰生活を送るようになってからは、本当に大切なものが見えて来ました。

氾濫する情報に惑わされたり、人に流されることも少なくなりました。生活の基盤を教会に、指針を聖書に置き神様が与えられる平安の中にあってこそ見出すことの喜びをひしひしと感じています。聖書には、神様の愛、イエス様の香りの漂う素敵な御言葉が沢山あります。

教会マーク



ブルーに囲まれた図形は知多半島をデザインし、中央に十字架を置き教会を表わしている。ブルー部分は海を表わし、円形は世界を表わす。宣教の拡大を願う円形上部を開けてある。

教会歌

キリストをかしらとし、御名により召されみことばに従って、み旨をなさん
お互いに愛し合い、お互いに任せ
お互いに戒め合い、神の家族とならん
潮の香とみかんの花、この知多半島と
造られしすべての者に、神の福音伝えん
われら知多半島中央キリスト教会
アーメン アーメン アーメン



それらはみんな幸せへの鍵だと私は思っています。

二切れのかわいたパンがあつて、平和であるのは、ごちそうと争いに満ちた家になさる。」

(箴言十七章一節)

